

令和7年度 前期「学校評価」の結果報告

秋冷の候、保護者の皆様には、いつも本校教育にご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。教職員と児童、保護者の皆様からの学校評価について集計をしましたので、その結果をお知らせします。今回の学校評価の結果をもとに、児童一人一人に寄り添った教育を推進していきますので、今後ご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

令和7年度 学校評価 結果（7月・令和6年度12月）  
上段（令和7年度7月） 下段（令和6年度12月）  
A よく当てはまる B やや当てはまる C あまり当てはまらない D 当てはまらない

児童像	具体的な取組	番号	対象	設問	A よく	B やや	C あまり	D まったく	考察・改善案等（継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案）		
たくましい心と体の橘っ子	ふるさと「橘」を素材にした、 <b>体験活動</b> （栽培活動等）、 <b>環境教育</b> （緑の少年団活動）を推進し、 <b>ふるさとに感謝し、たくましく生きぬく</b> 児童を育てる。	1	教職員	地域学校協働活動を通して、たくましく生きぬく児童を育てている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>			<div>・教職員は、地域学校協働活動に対して、目標をもって取り組んでいると感じている。</div> <div>・児童は、地域の方々に感謝の気持ちを持って活動していると感じているが、保護者との意識に差がある。</div> <div>○ 地域・保護者・学校がお互いに良い関係を築けるように活動を工夫していく。</div> <div>○ 地域の方がかわってくださったときには（草引きや水やり）あらゆる機会に子どもたちに紹介していく。</div>		
			児童	地域の方々に感謝の気持ちを持って生活している。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、地域の方々とのふれあいを通して、感謝の気持ちを持っている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
	望ましい生活習慣の確立、食育の推進、 <b>保健・体育活動の充実</b> 、により、児童のたくましい心身を培う。	2	教職員	「食育」「外遊び」等を推進し、児童の健康・体力づくりに努めている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>				<div>・6月に実施した食育参観日の効果があり、児童・保護者の食に対する意識が高くなっている。</div> <div>・「食育」「外遊び」等の推進へ教職員の評価が12月に比べて減少しているが、暑さのため外遊びができていなかったと考えられる。</div> <div>○ 生活調べ（橘っ子カレンダー）を実践しているが、児童・保護者で生活習慣に関する認識に差があり、啓発活動を行う必要性がある。</div>	
			児童	「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日続け、天気のよい日には外で遊んでいる。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭で、毎日、「早寝・早起き・朝ご飯」をし、天気のよい日には進んで外遊びをしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
		3	教職員	月一度の生活調べを活用し、児童の生活習慣の確立に努めている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			児童	「早寝・早起き・朝ご飯」を毎日続け、天気のよい日には外で遊んでいる。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭で、毎日、「早寝・早起き・朝ご飯」をし、天気のよい日には進んで外遊びをしている。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
	ちえをだしみんなでのびる橘っ子	体験的な学習、 <b>問題解決的な学習等</b> において、様々な考えを出し合い、学び合う <b>授業実践</b> により、ともに伸びようとする児童を育てる。	4	教職員	体験的な学習、問題解決的な学習等、絶えず授業改善を行い、そこで、様々な考えを出し合う場を設定して、学び合う児童を育てている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>			<div>・教職員と児童は高い評価をしており、授業改善や話し合い活動の取組が定着している。しかし、できていないと感じている児童が数名いる。</div> <div>・よく人の話を聞いたり、積極的に話したりできていると感じている保護者が増えている一方、あまりできていないと感じている保護者の割合は12月より高くなっている。</div> <div>○ 家庭でも、対話をする機会を設けることができるような課題や情報提供をする。</div> <div>○ モジュールの時間等を活用し、国語の文章問題に取り組む機会を増やす。</div> <div>○ 授業中だけでなく、朝の会や帰りの会などで学び合い、考えを出し合う場の設定を増やす。</div>	
				児童	授業中、グループや全体の話し合いで、友達の話をよく聞いたり、自分の意見をすすんで発表したりしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>				
				保護者	お子様は、ご家庭で、人の話をよく聞き、また、自分の思いや意見を積極的に話している。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>				
5			教職員	補充的な学習・発展的な学習を取り入れることにより、基礎・基本の確実な定着に努めている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			児童	授業中、グループや全体の話し合いで、友達の話をよく聞いたり、自分の意見をすすんで発表したりしている。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭で、人の話をよく聞き、また、自分の思いや意見を積極的に話している。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
全校縦割班活動の <b>充実</b> 等により、ともに伸びようとする児童を育てる。		6	教職員	学級活動、集会活動、全校縦割り班活動の工夫により、ともに伸びようとする児童を育てている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>			<div>・全児童が肯定的な意見であり、縦割り班活動や集会活動が児童の協働性を高めており、それを児童も実感することができている。</div> <div>・キラキラオンステージでは、自分の得意なことや好きなことを自信を持って発表することができていた。</div> <div>○ 対話する場面や「キラキラオンステージ」などの表現する場면을充実させる。</div>		
			児童	学級の友達やたてわりはんの友達と協力して活動できている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、地域活動で、友達と協力して活動できている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
		7	教職員	「おはよう」「ありがとう」「返事」等ができるよう、継続して指導・支援している。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			児童	自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭や地域で、積極的にあいさつをしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
ばら色のえがおであいさつ橘っ子	<b>あいさつ運動の推進、美化活動の推進</b> により、笑顔の絶えない学校づくりをする。	7	教職員	「おはよう」「ありがとう」「返事」等ができるよう、継続して指導・支援している。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>			<div>・挨拶の指導は継続的に行われており、全教職員が一定の成果を感じている。また、日常生活指導として、組織的・計画的に取り組まれていると推察される。</div> <div>・児童の肯定的評価も高く、「自分から」挨拶を意識して行動している様子がうかがえる。</div> <div>・「挨拶がよくできている」と回答した保護者が昨年12月より19%増加しており、児童が自発的に挨拶する態度が定着していると感じられている。</div> <div>○ 様々な場で、挨拶について話題にし、挨拶ができている児童や場面で、称揚する。</div> <div>○ 学校や家庭、地域での挨拶にはばらつきが見られることから、学校・家庭・地域が一体となって挨拶の大切さを共有し、日常的に挨拶を交わす取組を推進していく必要がある。</div>		
			児童	自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭や地域で、積極的にあいさつをしている。	R7.7月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
		7	教職員	「おはよう」「ありがとう」「返事」等ができるよう、継続して指導・支援している。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			児童	自分から進んで気持ちのよいあいさつをしている。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					
			保護者	お子様は、ご家庭や地域で、積極的にあいさつをしている。	R6.12月	<div><div></div><div></div><div></div></div>					

児童像	具体的な取組	番号	対象	設問	A よく	B やや	C あまり	D まったく	考察・改善案等（継続したほうがいいこと、よかったこと、改善案）
ばら色のえがおで あいき つ橋っ子	「互いに認め合 い、励まし合い、 戒め合う学級・学 校づくり」「教育相 談体制、指導体制 の充実」を通し て、「夢と希望」 に満ちた学校づく りをする。	8	教 職 員	「善悪のけじめ」「学習規律の確立」「道徳教育」等を通して、互いに認め合い、励まし合い、戒め合う学級・学校づくりに努めている。	R7.7月 38%	62%			・縦割り班や金管、放課後練習、地区児童会など多くの行事があり、たくさんの教職員に見守られているので、学級担任だけでなく、他の教職員からの声掛けがあるところがいい。 ・教職員や保護者において「よくできている」という評価は下がっている。また、保護者の「あまりできていない」という評価が一定数ある。けじめについては、それぞれの学級のいろいろな場面できちんと指導することで、家庭にも波及することを期待している。  ○ 特別活動、道徳教育、人権・同和教育活動等を通して、全ての教育活動の中で、常に指導したり、話し合ったりしていく。
			児 童	「やってはいけないこと」「やっていいこと」「やらなければならないこと」のけじめをつけ、友達と認め合い、はげまし合い、注意し合って活動している。	R7.7月 61%	38%	1%		
			保 護 者	お子様は、ご家庭や地域で、「善悪のけじめ」をつけ、進んでよい行いをしている。	R7.7月 41%	49%	10%		
なにごと も進んで 行う橋っ 子	特別活動（話し 合い・集会・係・飼 育栽培・縦割り活 動・美化活動等） を充実し、自主 的、実践的な態度 を育てる。	10	教 職 員	「話し合い」「集会」「係（委員会活動も）」等、自主的に実践できるよう、継続して指導・支援している。	R7.7月 38%	62%			・自分の役割に責任を持って取り組む意識が育っており、特に高学年ではリーダーシップを発揮する場面も見られる。 ・教職員の「よくできている」という評価が下がっているのは、任されたことを自分事としてとらえ、「自主的に」動く児童にはまだ育っていないと捉えていると考えられる。  ○ 児童が自分たちで決め、自分たちで実行するなど、自主性を発揮できる場面を多く設定したい。
			児 童	学級のかかりの仕事（高学年は委員会活動も）などをいっしょうけんめいしている。	R7.7月 86%	15%			
			保 護 者	お子様は、ご家庭で、自分の仕事やお手伝い等、進んで行っている。	R7.7月 32%	48%	18%	3%	
	基礎基本の確実な 定着に向けた授業 実践、「家庭学習 の手引き」等によ る家庭学習の推進 等により、主体的 に学習に取り組む 児童を育てる。	11	教 職 員	自主的に美化活動に参加し、主体的に実践できるよう、継続して指導・支援している。	R7.7月 7%	93%	0%		・家庭学習や学校の準備では、教職員、児童、保護者とも肯定的な回答が80%を上回った。しかし、教職員では否定的な回答が7%いる。 ・児童は自分なりに頑張っているという思いはあるが、保護者との意識の差が大きい。  ○ 学年や個人によって差があり、習慣化できない児童への個別支援の工夫が必要である。
			児 童	家で、自分で進んで勉強したり、ちゃんと次の日の勉強の準備をしたりしている。	R7.7月 62%	32%	3%		
			保 護 者	お子様は、ご家庭で、自分で進んで学習したり、きちんと次の日の学習の準備を行ったりしている。	R7.7月 38%	48%	13%	2%	
	地域活動への積極 的な参加、地域ボ ランティアの計画 的な活用、等によ り、学校・家庭・ 地域の連携を強め る。	13	教 職 員	「地域活動への積極的な参加（リサイクル活動・危険箇所点検等への参加）、教育課程に地域素材を計画的に取り入れるなどすることにより、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。	R7.7月 70%	23%	7%		・開校150周年を迎え、地域とのつながりを大切に感じている児童が多い。よく参加していると回答している児童の意見が12%上昇している。 ・公民館の行事などにも積極的に参加している児童が多く、その場で地域の方々とのふれあいもある。また、地域の方々も児童の顔と名前を覚えてくれている。 ・地域との交流活動が年間を通して、どの学年にも位置づけられている。  ○ 児童の活動を 学校通信やホームページでさらに紹介し、地域活動の様子をより積極的に可視化することで、家庭の理解と関心を高める。
			児 童	地域の行事にすすんで参加したり、地域の人といっしょに楽しく活動したりしている。	R7.7月 72%	21%	4%	3%	
			保 護 者	お子様は、地域行事に積極的に参加している。	R7.7月 49%	37%	13%	2%	
家庭・地域との 連携・協力	各種たより、HP 等による情報発信、行事の感想等による情報収集の充実等により、双方向の情報共有に努め、学校・家庭・地域の連携を強める。	14	教 職 員	学校便り・保健便り・HP等による積極的な情報発信、保護者や地域からの意見・情報収集に努め、学校・家庭・地域の連携を強める取組を実践している。	R7.7月 62%	23%	15%	0%	・学校便り・保健便り等を読んだり、学校のホームページを閲覧したりしている保護者の割合が高くなっている。学校教育への関心は高い。  ○ HPの更新頻度をより高め、学校教育への関心や連携をさらに強化したい。
			児 童	家の人に、学校ことを話したり、お知らせを確かめたりしている。	R7.7月 79%	17%	3%		
			保 護 者	学校便り・保健便り等を読んだり、学校のホームページを閲覧したりしている。	R7.7月 44%	43%	8%	5%	